※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １００１ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ３単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新編　言語文化」　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 新国語総合ガイド五訂版（京都書房）/新精選　古典文法　三訂版（東京書籍） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」では、古今の「物語」を中心とした読解、および読解に必要な古典文法や語彙の習得を行います。現代の「小説」「随筆」「詩歌」、古典の「物語」や「日記」「和歌」そして漢文など、バランス良く学んでいきます。「知識」や「技能」を定着させることも大切ですが、それぞれの教材で最終的に到達するのは、その文章に対しての正しい理解と、その内容に対して自分はどのように感じるかを言葉で表現することです。「古典だから」「漢文だから」と拒否反応を起こさず、現代の文章であろうと古文であろうと、同様の「文章」としてアプローチできる姿勢を養いましょう。

## ２　学習の到達目標

学習指導要領の科目目標に基づき、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、ここで学んだ姿勢を生涯に渡って目指せる意識を養う。

・論理的な思考、共感力や想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めることで、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、ノート（授業記録）の独創的な工夫や充実を奨励し、授業を主体的に理解する姿勢を自分なりに見つけてくことに繋げる。

・読書や文芸鑑賞など様々な「文学とのふれあい」を習慣づけることで、「知ること」「伝えること」他、様々な「知的好奇心」を豊かに持ち、それを他者との関わりの中で表現できるようにする。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 「読み解く力」の定着を究極の目標とし、それに必要な「文法」「語彙」などの知識、あるいは読解に不可欠な「技能」について習得、読解の場で実際にそれを応用することができている。 | ・思考　判断<br>教材の正しい読解を踏まえたうえで、書いている内容について自分の意見を持ち、それを適切な日本語で表現できる。<br><br>・表現<br>自身の意見について正しい日本語で表現し、それを適切な態度で他者に伝えることができる。あるいは、他者の意見を聴くことで影響を受け、自分の内面世界をより充実させることができる。 | ・自身の知的好奇心を育み、主体的な学びに繋げられるように、言葉を通じて積極的に他者と関わったり、質疑応答その他の口頭におけるやり取りの中から読解の糸口を学び取ったりする姿勢が見える。<br><br>・自身の学びの定着の成果としてノート記録を作っており、その内容について、より学びを深めることができるように工夫されている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 作品の主題をつかむ<br>主題に対して意見を持つ<br>［教材］<br>「とんかつ」<br>「舟を編む」 | a：文章表記に基づいて作者の伝えたいことや物語情景について想像を巡らせる。<br>b[読]：文章の構成や内容を的確にとらえ、「この文章は何か言いたいのか」という問いに対して、答えが出せる。<br>c：他者との意見交換の中で自分の意見を客観視し、より深い学びへとつなげる。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>制作物 |
| | 古典に親しむ<br>古典の読解知識を養う<br>［教材］古文に親しもう<br>「児のそら寝」「検非違使忠明」<br>『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」 | a：古典の世界に親しむために、必要な文法や語彙について理解することができる。<br>b[書]：より実践的、効率的かつ復習しやすい記録を目指し、読解手順が明確となったノートを作ることができる。<br>c：「古典を現代文と同様に読み解く」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト |
| 後期 | 物語を読み解く<br>［教材］小説・詩歌・物語<br>「羅生門」、詩歌を味わう<br>『伊勢物語』「筒井筒」 | a：古今の物語を読解していくうえで、それぞれに必要な知識、あるいは読解手順を活用できる。<br>b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分の内面世界をより充実させていくことができる。<br>c：「古典を現代文と同様に読み解く」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト<br>制作物 |
| | 漢文入門<br>［教材］訓読の決まり<br>格言 | a：訓読の基本を定着させ、正しく読むことができる。<br>b[書]：より実践的、効率的かつ復習しやすい記録を目指し、訓読手順が明確となったノートを作ることができる。<br>c：「漢文を古文と同様に読み解き、現代文と同様に理解する」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト |
| | 総合的な「読解」を身に着ける。<br>［教材］<br>「葉桜と魔笛」<br>『おくのほそ道』「平泉」 | a：古今の文章を読解していくうえで、ジャンルそれぞれの特徴をつかみ、必要な知識、読解手順を活用できる。<br>b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分の内面世界をより充実させていくことができる。<br>c：「日本語で書かれた文章」という括りで作品を理解し、それに足して自分の意見を持ち、他者と共有することができる。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト | ワークシート<br>ノート<br>定期テスト |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…（　　）時間

・書くこと　…（　１０　）時間

・読むこと　…（　６０　）時間